

消費動向調査（平成 30 年 12 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 12 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、11 月の 42.9 から 0.2 ポイント低下して 42.7 となり、3 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「耐久消費財の買い時判断」が前月から上昇、それ以外の 3 項目「雇用環境」、「暮らし向き」及び「収入の増え方」が前月から低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 12 月の消費者マインドの基調判断は、**弱い動きがみられる**。（据置き）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	10 月調査	43.0	（▲0.4）
	11 月調査	42.9	（▲0.1）
	12 月調査	42.7	（▲0.2）

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 12 月）は 42.3。

- ③ 平成 30 年 12 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 5 か月ぶりに前月から減少、「低下する」が 2 か月連続で前月から増加、「変わらない」が 4 か月ぶりに前月から増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。  
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	10 月調査	3.2	11.4	82.9	2.5
	11 月調査	3.7	9.8	84.5	2.1
	12 月調査	4.0	10.8	83.2	2.1

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 12 月）は 67.1%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.7%。

## ※調査方法の変更

平成 30 年 10 月調査より、調査方法を郵送調査法から郵送・オンライン併用調査法へ変更した。(ただし、調査 1 か月目の新規世帯は、調査員が調査対象世帯を訪問して調査依頼・調査票配布・調査票回収を行う(同年 9 月調査までと変更なし)。2 か月目以降は調査票を郵送し、郵送またはオンラインにて回収を行う(調査世帯が郵送回答またはオンライン回答を選択する))。

郵送・オンライン併用調査の導入については、毎月調査世帯の交替に合わせ、新規世帯(全 8,400 世帯の 15 分の 1 の約 560 世帯)に対して順次導入を行う。

郵送・オンライン併用調査は同年 10 月調査より新規世帯に対して順次導入するが、調査 1 か月目の新規世帯は、調査員が調査対象世帯を訪問して調査依頼・調査票配布・調査票回収を行うため、オンラインによる回答は同年 11 月調査から実施。平成 31 年 12 月調査より、すべての調査世帯が郵送・オンライン併用調査の対象となる。

消費動向調査（平成 30 年 11 月実施分）  
調査結果の要点

平成 30 年 11 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、10 月の 43.0 から 0.1 ポイント低下して 42.9 となり、2 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」が前月から上昇、「暮らし向き」及び「雇用環境」が前月から低下した。一方、「耐久消費財の買い時判断」は前月と変わらなかった。

消費者態度指数の動きから見た 11 月の消費者マインドの基調判断は、**弱い動きがみられる。**（据置き）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	9 月調査	43.4	（ 0.1）
	10 月調査	43.0	（ 0.4）
	11 月調査	42.9	（ 0.1）

過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 11 月）は 42.3。

平成 30 年 11 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 4 か月連続で前月から増加、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から増加、「変わらない」が 3 か月連続で前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である。**  
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	9 月調査	3.4	12.2	81.7	2.8
	10 月調査	3.2	11.4	82.9	2.5
	11 月調査	3.7	9.8	84.5	2.1

「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 11 月）は 67.0%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.7%。

## 調査方法の変更

平成 30 年 10 月調査より、調査方法を郵送調査法から郵送・オンライン併用調査法へ変更した。(ただし、調査 1 か月目の新規世帯は、調査員が調査対象世帯を訪問して調査依頼・調査票配布・調査票回収を行う(同年 9 月調査までと変更なし)。2 か月目以降は調査票を郵送し、郵送またはオンラインにて回収を行う(調査世帯が郵送回答またはオンライン回答を選択する))。

郵送・オンライン併用調査の導入については、毎月調査世帯の交替に合わせ、新規世帯(全 8,400 世帯の 15 分の 1 の約 560 世帯)に対して順次導入を行う。

郵送・オンライン併用調査は同年 10 月調査より新規世帯に対して順次導入するが、調査 1 か月目の新規世帯は、調査員が調査対象世帯を訪問して調査依頼・調査票配布・調査票回収を行うため、オンラインによる回答は同年 11 月調査から実施。平成 31 年 12 月調査より、すべての調査世帯が郵送・オンライン併用調査の対象となる。

消費動向調査（平成 30 年 10 月実施分）  
調査結果の要点

平成 30 年 10 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、9 月の 43.4 から 0.4 ポイント低下して 43.0 となり、2 か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「雇用環境」、「収入の増え方」及び「暮らし向き」が前月から低下した。一方、「耐久消費財の買い時判断」は前月と変わらなかった。

消費者態度指数の動きから見た 10 月の消費者マインドの基調判断は、**弱い動きがみられる。**（据置き）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	8 月調査	43.3	（ 0.2）
	9 月調査	43.4	（ 0.1）
	10 月調査	43.0	（ 0.4）

過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 10 月）は 42.3。

平成 30 年 10 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 3 か月連続で前月から増加、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から減少、「変わらない」が 2 か月連続で前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である。**  
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	8 月調査	3.2	12.9	81.6	2.4
	9 月調査	3.4	12.2	81.7	2.8
	10 月調査	3.2	11.4	82.9	2.5

「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 10 月）は 66.9%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.7%。

## 調査方法の変更

平成 30 年 10 月調査より、調査方法を郵送調査法から郵送・オンライン併用調査法へ変更した。(ただし、調査 1 か月目の新規世帯は、調査員が調査対象世帯を訪問して調査依頼・調査票配布・調査票回収を行う(同年 9 月調査までと変更なし)。2 か月目以降は調査票を郵送し、郵送またはオンラインにて回収を行う(調査世帯が郵送回答またはオンライン回答を選択する))。

郵送・オンライン併用調査の導入については、毎月調査世帯の交替に合わせ、新規世帯(全 8,400 世帯の 15 分の 1 の約 560 世帯)に対して順次導入を行う。

郵送・オンライン併用調査は同年 10 月調査より新規世帯に対して順次導入するが、調査 1 か月目の新規世帯は、調査員が調査対象世帯を訪問して調査依頼・調査票配布・調査票回収を行うため、オンラインによる回答は同年 11 月調査から始まる。平成 31 年 12 月調査より、すべての調査世帯が郵送・オンライン併用調査の対象となる。

消費動向調査（平成 30 年 9 月実施分）  
調査結果の要点

平成 30 年 9 月の消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)は、8 月の 43.3 から 0.1 ポイント上昇して 43.4 となり、4 か月ぶりに前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「耐久消費財の買い時判断」及び「収入の増え方」が前月から上昇、「暮らし向き」が前月から低下した。一方、「雇用環境」は前月と変わらなかった。

消費者態度指数の動きから見た 9 月の消費者マインドの基調判断は、**弱い動きがみられる。**(据置き)

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 30 年	7 月調査	43.5	( 0.2)
	8 月調査	43.3	( 0.2)
	9 月調査	43.4	( 0.1)

過去平均(昭和 57 年 6 月～平成 30 年 9 月)は 42.3。

平成 30 年 9 月の 1 年後の物価に関する見通し(二人以上の世帯)は、「上昇する」が 2 か月連続で前月から増加、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から増加、「変わらない」が 2 か月ぶりに前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である。**  
(据置き、前月から表現の変更なし。)

1 年後の物価の見通し(二人以上の世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	7 月調査	3.5	12.5	81.5	2.5
	8 月調査	3.2	12.9	81.6	2.4
	9 月調査	3.4	12.2	81.7	2.8

「上昇する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 30 年 9 月)は 66.8%。

「低下する」と見込む割合の過去平均(同)は 6.8%。

消費動向調査（平成 30 年 8 月実施分）  
調査結果の要点

平成 30 年 8 月の消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)は、7月の43.5から0.2ポイント低下して43.3となり、3か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する4項目のうち、「暮らし向き」が前月から上昇、それ以外の3項目「収入の増え方」、「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から低下した。

消費者態度指数の動きから見た8月の消費者マインドの基調判断は、**弱い動きがみられる**。(下方修正、前月：弱含んでいる。)

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 30 年	6 月調査	43.7	( 0.1)
	7 月調査	43.5	( 0.2)
	8 月調査	43.3	( 0.2)

過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 8 月）は 42.3。

平成 30 年 8 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が4か月ぶりに前月から増加、「低下する」が4か月ぶりに前月から減少、「変わらない」が2か月ぶりに前月から増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。  
(据置き、前月から表現の変更なし。)

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	6 月調査	3.3	12.6	81.7	2.4
	7 月調査	3.5	12.5	81.5	2.5
	8 月調査	3.2	12.9	81.6	2.4

「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 8 月）は 66.7%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.8%。



消費動向調査（平成 30 年 7 月実施分）  
調査結果の要点

平成 30 年 7 月の消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)は、6 月の 43.7 から 0.2 ポイント低下して 43.5 となり、2 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」が前月から上昇、それ以外の 3 項目「耐久消費財の買い時判断」、「暮らし向き」及び「雇用環境」が前月から低下した。

消費者態度指数の動きから見た 7 月の消費者マインドの基調判断は、**弱含んでいる**。(据置き、前月からの表現の変更なし。)

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 30 年	5 月調査	43.8	(0.2)
	6 月調査	43.7	(0.1)
	7 月調査	43.5	(0.2)

過去平均(昭和 57 年 6 月～平成 30 年 7 月)は 42.3。

平成 30 年 7 月の 1 年後の物価に関する見通し(二人以上の世帯)は、「上昇する」が 3 か月連続で前月から減少、「低下する」が 3 か月連続で前月から増加、「変わらない」が 3 か月ぶりに前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。  
(据置き、前月から表現の変更なし。)

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	5 月調査	3.2	12.4	82.1	2.4
	6 月調査	3.3	12.6	81.7	2.4
	7 月調査	3.5	12.5	81.5	2.5

「上昇する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 30 年 7 月)は 66.6%。

「低下する」と見込む割合の過去平均(同)は 6.8%。

消費動向調査（平成 30 年 6 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 6 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、5 月の 43.8 から 0.1 ポイント低下して 43.7 となり、2 か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「雇用環境」が前月から上昇、それ以外の 3 項目「暮らし向き」、「収入の増え方」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 6 月の消費者マインドの基調判断は、**弱含んでいる**。（据置き、前月からの表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	4 月調査	43.6	（▲0.7）
	5 月調査	43.8	（0.2）
	6 月調査	43.7	（▲0.1）

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 6 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 6 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 2 か月連続で前月から減少、「低下する」が 2 か月連続で前月から増加、「変わらない」が 2 か月連続で前月から増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。  
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	4 月調査	2.9	11.9	82.3	3.0
	5 月調査	3.2	12.4	82.1	2.4
	6 月調査	3.3	12.6	81.7	2.4

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 6 月）は 66.6%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.8%。

消費動向調査（平成 30 年 5 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 5 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、4 月の 43.6 から 0.2 ポイント上昇して 43.8 となり、6 か月ぶりに前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」が前月から低下、それ以外の 3 項目「暮らし向き」、「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 5 月の消費者マインドの基調判断は、**弱含んでいる**。（据置き、前月からの表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	3 月調査	44.3	(0.0)
	4 月調査	43.6	(▲0.7)
	5 月調査	43.8	(0.2)

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 5 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 5 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 2 か月ぶりに前月から減少、「低下する」が 3 か月ぶりに前月から増加、「変わらない」が 2 か月ぶりに前月から増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。  
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	3 月調査	3.6	12.1	79.8	4.4
	4 月調査	2.9	11.9	82.3	3.0
	5 月調査	3.2	12.4	82.1	2.4

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 5 月）は 66.5%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.8%。

消費動向調査（平成 30 年 4 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 4 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、3 月の 44.3 から 0.7 ポイント低下して 43.6 となり、2 か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全てが前月から低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 4 月の消費者マインドの基調判断は、弱含んでいる。（下方修正、前月：足踏みがみられる。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	2 月調査	44.3	（▲0.3）
	3 月調査	44.3	（0.0）
	4 月調査	43.6	（▲0.7）

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 4 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 4 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 3 か月ぶりに前月から増加、「低下する」が 2 か月連続で前月から減少、「変わらない」が 3 か月ぶりに前月から減少した。
- 消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が高水準である。（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	2 月調査	4.0	11.8	81.3	2.9
	3 月調査	3.6	12.1	79.8	4.4
	4 月調査	2.9	11.9	82.3	3.0

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 4 月）は 66.4%。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.9%。

消費動向調査（平成 30 年 3 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 3 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、2 月と変わらず 44.3 となった。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」及び「暮らし向き」が前月から低下、「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 3 月の消費者マインドの基調判断は、足踏みがみられる。（据置き、前月から表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	1 月調査	44.6	(0.0)
	2 月調査	44.3	(▲0.3)
	3 月調査	44.3	(0.0)

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 3 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 3 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 2 か月連続で前月から減少、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から減少、「変わらない」が 2 か月連続で前月から増加した。

消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が高水準である。

（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	1 月調査	3.2	11.5	82.4	2.9
	2 月調査	4.0	11.8	81.3	2.9
	3 月調査	3.6	12.1	79.8	4.4

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 3 月）は 66.3%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.9%。

消費動向調査（平成 30 年 2 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 2 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、1 月の 44.7 から 0.4 ポイント低下して 44.3 となった。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」が前月から上昇、それ以外の 3 項目「暮らし向き」「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 2 月の消費者マインドの基調判断は、足踏みがみられる。（下方修正、前月：持ち直しのテンポが緩やかになっている。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 29 年	12 月調査	44.7	（▲0.2）
平成 30 年	1 月調査	44.7	（0.0）
	2 月調査	44.3	（▲0.4）

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 2 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 2 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 7 か月ぶりに前月から減少、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から増加、「変わらない」が 6 か月ぶりに前月から増加した。
- 消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が高水準である。（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 29 年	12 月調査	4.0	12.5	80.0	3.6
平成 30 年	1 月調査	3.2	11.5	82.4	2.9
	2 月調査	4.0	11.8	81.3	2.9

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 2 月）は 66.2%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.9%。

消費動向調査（平成 30 年 1 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 1 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、平成 29 年 12 月と変わらず 44.7 となった。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「雇用環境」が前月から上昇、それ以外の 3 項目「暮らし向き」「収入の増え方」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 1 月の消費者マインドの基調判断は、**持ち直しのテンポが緩やかになっている**。（下方修正、前月：持ち直している。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 29 年	11 月調査	44.9	(0.4)
	12 月調査	44.7	(▲0.2)
平成 30 年	1 月調査	44.7	(0.0)

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 1 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 1 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 6 か月連続で前月から増加、「低下する」が 3 か月ぶりに前月から減少、「変わらない」が 3 か月連続で前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。  
（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 29 年	11 月調査	3.7	14.5	78.6	3.2
	12 月調査	4.0	12.5	80.0	3.6
平成 30 年	1 月調査	3.2	11.5	82.4	2.9

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 1 月）は 66.1%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.9%。